

企画名：子どもたちのオシッコと母乳のネオニコ調査

団体名：れんげじオーガニックマーケット

1. 報告要旨

母乳 14 人、子供の尿 71 人からサンプルを採取し、ネオニコチノイド系殺虫剤、ネオニコチノイド代謝物、ネオニコチノイド類似農薬の 15 成分の検査を行いました。ネオニコの検査結果は、すべての子どもの尿からネオニコチノイドの成分が検出される、もしくは痕跡が認められました。母乳では提供者 14 人のうち、2 人から微量のジノテフランが検出され、5 人に痕跡が認められましたが、7 人からは全く検出がありませんでした。普段の食事を共にする家族内での比較では、母親の母乳からは全く検出されていない場合も、子どもの尿からは検出がある例が複数ありました。これらのことから、ネオニコチノイドは母乳では尿ほど検出されないということがわかりました。

検査への参加者には事前に普段の食事についてのアンケートを行い、食材の有機農産物の割合を調査したところ、消費するものの半分以上が有機農産物を選択している割合は品目ごとにそれぞれ、米 67%、野菜 78%、果物 57%、茶 71%でした。検査参加者は全体的に食への関心の高い層であったことがアンケートからもわかりますが、有機農産物を意識的に選択していても、尿からネオニコが検出され、いかに日常の食の中にネオニコが浸透しているかがわかります。

期間中、農民連食品分析センター所長の八田純人氏を講師に招き3回の学習会を会場とオンラインで開催しました。12 月には「静かな汚染、ネオニコチノイド」の上映会も開きネオニコチノイド系農薬についての学びを深めるための学習の場を作りました。

全体の課題としては、調査も学習会も関心の高い方々の参加はありましたが、普段関心を持たない層への働きかけが非常に困難でありました。今後、オーガニックマーケットとして、これらの層への働きかけとして、柔軟なアプローチが必要であると考えています。

2. 成果物

1. [第 1 回学習会の開催](#) 参加者約 90 人 (2023.5.21)
2. [第 2 回学習会の開催](#) 参加者約 70 人 (2023.10.15)
3. [れんげじオーガニックマーケット 10 周年イベント](#)「静かな汚染、ネオニコチノイド」上映会 参加者 12 人 (2023.12.15)
4. [第 3 回学習会の開催](#) 参加者 68 人 (2024.3.17)